

第13回中信陸上大会結果報告

5月20日（日）、松本平広域公園陸上競技場で標記大会が開催されました。本校出場選手の記録は以下のとおりです。持てる力を精一杯発揮し、自己ベストの記録を出すことができました。それは環境の整った競技場であることや、他校の児童と競技する緊張感もさることながら、なんと言ってもご家族の温かい応援があることのお陰様であったと思います。選手は得がたい経験ができたものと思います。多くの皆様の応援、ありがとうございました。



4年生リレーチームの力走

6年100m	高野萌々花さん	16秒72
6年100m	塚原 理華さん	17秒60
1000m	カンポス紗智さん	4分37秒69
5年100m	原笹 莉名さん	18秒99
1000m	雑賀 光彦さん	4分57秒76
走幅跳	滝澤 まなさん	3m15cm
走幅跳	高野 翔さん	3m12cm

4年男女混合100m×4R 塚原 慧さん 花岡 拓海さん 丸山 柊佳さん 宮下 若菜さん 1分10秒83

上位入賞の15名が6月24日（日）の県大会出場権を得ます。本校からは走幅跳で滝澤まなさんが10位入賞して出場します。健闘を祈ります。

「音を大切にできる」音楽会に向けて

音楽会を一ヶ月後に控えて、校内では朝の金管バンドの練習に始まり、授業中には歌声や楽器の音色がほぼ絶えることなく響いています。休み時間にも自主的に練習に励む子どもがいて反復練習する楽器の音も聞こえてきます。

また、楽器の持ち帰りをして、休日にもご家庭で練習している子どもさんの姿を以前からよく目にしました。とてもうれしいことです。音楽は一過性のものではないので、すでにその取り組みはずっと以前から始められていたのですが、それでもいよいよ本格的に音楽会シーズンを迎えた印象があります。



音楽会「音を大切に」

さて、音楽集会での子どもさんの姿については、以前のおたよりでも少々お伝えしました。リズムアンサンブルを含むオープニングをはじめとして、音楽専科の中島先生を中心とする新たな試みも加わり、昨年度にも増して、皆様の心に響く音楽会が期待できそうです。わたしも音楽集会や授業時間に子どもたちの歌声や器楽演奏を聴いて、わくわくさせてもらっています。

昨日（31日）の音楽集会において、松本先生が子どもたちに「音を大切にできる音楽会をめざしましょう」と話してくださいました。演奏ももちろん



大切だけれど、自分たちの出番以外の友だちの演奏を聴いているときの音、立ったり座ったり歩いたりする場面での音、楽器を扱うときの音を全校のみんなで大切にしましょう、ということ

とでした。その直後に全校児童が起立する場面があったのですが、さすが麻績の子どもたち。すぐに聞いたことを、実行することができていました。歌声や楽器を演奏する力を伸ばすことももちろん大切ですが、さらに「音を大切にできる音楽会」が実現できそうです。

昨年度の音楽会終了時にも、それは「終わり」ではなく今後の日々の取り組みが麻績小の大切にしたい「音楽」であり、その積み重ねの上に音楽会のステージがある、とお話させていただきました。もちろん、音楽会の主役は子どもたちです。しかし、子どもたちの音楽に向かう姿勢や意欲については、わたしたち職員のはたらきかけ如何にもよります。音楽会には、お家の皆様にぜひ大勢お越しただいて、ここまでの本校の取り組みがどうであったか、お子さんの姿がどうであったか、ご感想等お聞かせいただければ幸いです。

麻績の子どもの健康課題

児童の健康診断結果について職員会で報告がありました。①肥満傾向が進んでいる、②う歯の未処置者の割合が増えている、等の心配な点がみえてきました。①については、運動に親しむ、体を動かすよさを感じることでできる生活を一層心がけたいと思います。今年度から火曜日の朝の活動に全校マラソンが位置づいています。「おみっ子元気マラソン」や体育集会とも併せて「走る」「運動を楽しむ」ことを大切にします。また「5ー！ゴー！あるこうデー」についてもさらに意識できるようにはたらきかけます。「あるこうデー」とともに、②につきましては、ご家庭のご協力なしには向上に向かわないことがらでもあります。ご家庭のご協力を何とぞよろしくお願いいたします。